





**赤松**  
松並木31本のうち、赤松は25本あります。  
樹皮が赤っぽいことから赤松と呼ばれています。黒松と比べて葉はやや細く、やわらかいことが特徴です。




**黒松**  
松並木31本のうち、黒松は6本あります。  
樹皮が黒っぽいことから黒松と呼ばれています。赤松と比べて葉は硬く、枝が太いことが特徴です。


## 景観重要樹木のビュースポット




A 八ヶ岳方面の眺望




B 茅ヶ岳方面の眺望



C 富士山方面の眺望



D 甲斐駒ヶ岳方面の眺望



E 釜無川からの眺望



コースあない 距離4.5km/時間約1時間18分

① たちあい公園	0.2km	3分	② 一番堤・松林	0.8km	14分	③ 二番堤・松林	0.7km	14分	④ 寄り添っている松	0.2km	3分	⑤ 信玄橋	0.3km	5分	⑥ 豊光院	0.3km	4分	⑦ 円覚寺七面堂	0.4km	6分	⑧ お熊野堤	0.3km	5分	⑨ 神明神社	0.1km	2分	⑩ 下村九頭龍大神	0.2km	3分	⑪ 中村九頭龍大神	0.3km	5分	⑫ 上村九頭龍大権現	0.7km	14分	⑬ たちあい公園	0.7km	14分
----------	-------	----	----------	-------	-----	----------	-------	-----	------------	-------	----	-------	-------	----	-------	-------	----	----------	-------	----	--------	-------	----	--------	-------	----	-----------	-------	----	-----------	-------	----	------------	-------	-----	----------	-------	-----

上高砂地区の方々、堤防の松並木を守るために雑草を抜いたり、美しい景観づくりの活動を積極的に行なっています。  
松並木の西側の県道沿いには、県が育成した新品種のミント「かいミント・ふじ」が植えられ、「かいミント街道」と愛称がつけられました。5月上旬から10月までの間、小さな紫色の花が咲き、人々の目を楽しませてくれます。

## 景観重要樹木に指定された松並木

上高砂堤防に並ぶ31本（赤松25本、黒松6本）の松は、上高砂区より推薦を受け、平成26年3月、県内初の「景観重要樹木」に指定されました。河川敷にある樹木としては、国内初の指定となります。

景観重要樹木とは、地域の良好な景観づくりにとって重要であり、景観のシンボルとして親しまれている樹木のことです。

100年あまりの時を重ね、静かにたたずむこの松並木は、釜無川の川面のきらめきや、八ヶ岳・南アルプス・富士山などの山岳眺望と相まって、四季折々、美しいすがたを見せ、人々の憩いの場となっています。

地域の水害防備の歴史を伝える貴重な樹木でもあるこの松並木を、今後も地域の方々との協働により、保護、育成していきたいと考えています。


※景観重要樹木は、平成26年1月1日現在、全国で489件指定されています。

## 水害防備としての松並木の歴史

上高砂地区は、暴れ川と呼ばれた御勅使川と前御勅使川、釜無川に挟まれ、古くから度々水害に悩まされてきました。人々は何世代にも渡って、堤防を造り、水害防備の樹木を植え、神仏へ水防の祈りを捧げてきました。

上高砂の堤防は、「霞堤（かすみてい）」という不連続な堤防で、堤防の上には「根固め」として樹木が植えられてきました。現在の松並木は、明治29～43年の堤防改修の際に植樹されたようです。

100年の時を経る中で残った31本の松並木は、私たちの暮らしを見守り続けながら、先人たちの水害から集落を守ってきた歴史や防災への意識を今に伝えてくれています。



Mnabi ご活用ください

地元の方々、子どもたちの声で南アルプス市のいろんな場所をガイドします。QRコードを携帯電話などのバーコードリーダーで読み取ります。表示されたURLからMnabiの地点情報ページへアクセスして下さい。

